

令和元年度

事業報告書

令和元年度 事業実績

I. 事業実績

(公益財団法人として)

世田谷区保健センターは、昭和51年10月に財団法人として設立され、区民の健康保持増進に役立つ総合的な健康診査、健康相談・指導及び教育、疾病予防に向けた検査・検診等の医療事業等を展開してきた。また、平成12年からは障害を有する区民に向け相談支援事業、機能訓練事業、交流等地域支援事業等にも取り組んできた。平成23年2月には公益財団法人に移行し、公益性の高い団体として事業を展開している。平成30年度末の区立総合福祉センター廃止に伴い、機能訓練等は東京リハビリテーションセンター世田谷に事業移行し、相談支援事業等は令和元年度から区立保健センター事業として引き続き実施している。

令和元年度は、公益財団法人移行後10年目であるとともに、世田谷区(以下「区」という。)より受託した区立保健センターの指定管理第5期目(令和元年度～令和5年度)の初年度であった。当財団では、区の示した外郭団体改革基本方針に沿った新実施計画(後期)(平成30年度～令和3年度)に基づき、区民の健康づくり支援やがん患者等を支える取り組みの拡充、利用者視点に立った障害福祉事業の展開とともに、令和2年度の梅ヶ丘拠点(以下「うめとぴあ」という。)区立保健医療福祉総合プラザへの移転を契機とした事業の拡充や地域医療機関への後方支援の強化の準備を進めた。

また、平成27年12月に策定した「保健センター経営ビジョン(第二次)」に基づく財団改革を着実に進めるとともに、区の外郭団体としてより一層の自主・自立性を高めるため、経営基盤の安定化や信頼性の向上、経営の効率化に向けて取り組んだ。

財務面では、令和元年度第4四半期の新型コロナウイルス感染症拡大による事業休止や「うめとぴあ」への移転に伴う事業休止が収支に影響している。「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に定める公益目的事業比率(注)は、77.5%であり、損益は経常収益が12億64万円、経常費用が11億8602万円で、当期経常増減額はプラス1462万円となっている。

令和元年度から「保健センター経営ビジョン」の改定作業を開始しているが、関係団体等様々な方面からの意見も取り入れながら令和2年度に策定し、新たなビジョン等に基づき、区民の健康の保持増進と区民福祉の向上に寄与するという財団の目的達成に向けて経営改革を進めていく。

(注) 公益法人の活動全体における公益目的事業活動の割合がその費用額において、50%以上であることを求めるもの

(財団運営の状況)

令和元年度の財団運営では、「うめとびあ」への移転を円滑に進めること、区民サービスを低下させないよう3月の事業休止期間を極力短くすることを目指して取り組んだ。

移転については、計画的に準備を行い、三軒茶屋の保健センター本部と区梅丘分庁舎の専門相談課とも、3月中の移転を無事完了し、「うめとびあ」での4月開設に向け取り組んだ。

しかしながら、一部事業においては、移転に伴う休止期間前に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休止を行うこととなり、合わせて約1か月の休止を余儀なくされた。事業の休止については、区の対応方針に基づき一部事業について2月から行い、健康教育事業の各種教室や運動コース・マシントレーニングは2月27日から休止、健康増進事業の健康づくり講座・教室は3月5日以降休止した。

一方、がん検診、がん相談、障害者専門相談等は、感染症予防を行なった上で、移転による休止期間を除き継続して行った。

財務面では、事業の休止以外に、収益事業の中心となっている保険診療等による検査事業が5年連続で前年度実績を下回っており、収支の改善のため移転後の検査事業について区内医療機関に対するPRに努めた。

令和元年度において、見直した事業、新規事業等の実施状況は次のとおりである。

がん対策事業では、「胃がん検診受付センター」への検診申込件数は、前年度と比べ横ばいであったが、保健センターでのエックス線検診受診者は減少した。これは区内医療機関での内視鏡検診受診者の増加が影響している。令和2年度のがん検診受付センターでは、胃がんに加え、乳がん・大腸がん・子宮がん・肺がん検診等に対象を拡大するため、令和元年度中に従事者に対する研修を行い新年度スタートに向けての準備を行った。

健康増進事業では、生活習慣病の重度化予防対策として、公募型の「地域出張健康測定・個別相談会」を見直し、対象者へ直接働きかける「派遣型集団指導方式」の実施回数を増やして実施した。また、「障害者の健康支援プログラム」として障害のある方が日常生活の中で健康を維持・増進するきっかけづくりの場として、リハビリ・スポーツ教室を新たに実施した。

健康教育事業としては、保健センター健康情報紙「げんき人」の3月1日号を「うめとびあ」への移転特集号として発行し、移転と新施設の案内等を行った。

医療事業では、移転を機に導入する高度医療機器のCTとMRIについて、稼働の準備を行うとともに、区内医療機関に対して、新たな高度医療機器や精密検査等の利用についてPRを行った。

障害者専門相談事業では、平成30年度末の総合福祉センター廃止に伴い、訓練・療育事業を移行した東京リハビリテーションセンター世田谷と密接な連携のもと相談事業を実施した。

1 公益目的事業

公益 1 世田谷区民の健康の保持増進及び福祉の向上を図る事業

(1) 区立保健センター維持管理運営（定款第 4 条第 1 号事業）

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

(2) がん対策事業（定款第 4 条第 1 号事業）

① 胃がん検診受付センター

世田谷区の胃がん検診を希望する区民の申込み等の窓口として、胃がん検診全般の受付業務を行った。

[表 1]

事業項目	年度	令和元年度	30 年度	29 年度
		実績	実績	実績
胃がん検診（エックス線）		4,384 件	4,754 件	3,691 件
胃がん検診（内視鏡）		11,091 件	9,947 件	5,191 件
合 計		15,475 件	14,701 件	8,882 件

※平成 29 年度は 10 月からの実績

② 保健センター内及び検診車での胃がん（エックス線及び内視鏡）検診

エックス線撮影による胃がん検診は、40歳以上の区民（1年に1回）を対象に、保健センター施設内およびデジタル撮影システムの検診車でいった。

内視鏡による胃がん検診は、50歳以上の区民（2年に1回）を対象に、指定医療機関で行っている。保健センターは、指定医療機関（区内83機関）のひとつとして区から委託を受け、平成29年10月より内視鏡検診を行っている。

また、検診の結果により、必要な区民に対しては、精密検査の受診を勧奨した。

[表2]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃がん検診 (エックス線)	回数		530回	440回	83.0%	530回	477回	537回
	受診者数		10,000人	4,038人	40.4%	10,000人	4,884人	6,278人
	がん発見数		—	5人	—	—	6人 (6人)	13人 (11人)
胃がん検診 (内視鏡)	回数		—	36回	—	—	41回	20回
	受診者数		200人	155人	77.5%	200人	197人	106人
	がん発見数		—	0人	—	—	3人 (3人)	3人 (3人)

※ 【胃エックス線検診】申込数 4,384人(受診率92.1%)、要精検数 435人(要精検率10.8%)

【胃内視鏡検診】申込数 155人(受診率100.0%)、要精検数 5人(要精検率3.2%)

※ がん発見数は令和2年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

③ 乳がん検診

世田谷区では40歳以上で偶数年齢の女性区民（2年に1回）を対象として視触診とマンモグラフィ（乳房エックス線撮影）の併用受診を指定医療機関に委託して行っている。

保健センターでは、視触診を地域医療機関で受けマンモグラフィのみを行う場合と、視触診・マンモグラフィを同日に行う場合の2つのパターンで検診を実施した。

[表3]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
乳がん検診	回数		200回	171回	85.5%	200回	180回	213回
	マンモグラフィ		430人	225人	52.3%	430人	309人	340人
	視触診・マンモグラフィ		1,000人	1,093人	109.3%	1,000人	1,118人	1,074人

※ マンモグラフィ申込数 232人(受診率97.0%)、要精検数 33人(要精検率14.7%)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数 1,103人(受診率99.1%)、要精検数 200人(要精検率18.3%)

④ がん検診等精度管理

区が対策型検診として実施した5つのがん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）及び胃がんリスク検査について、精度管理（事業評価）を行った。

[表4]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
センター実施 胃がん検診精度管理	件数	(精密) 1,000件	520件	52.0%	1,700件	566件	681件	
	件数	(一次) 8,600件	6,770件	78.7%	8,000件	7,189件	258件	
医師会実施 胃がん検診精度管理	件数	(精密) 100件	76件	76.0%	—	90件	10件	
	件数	(一次) 130件	54件	41.5%	80件	66件	128件	
センター実施 乳がん検診精度管理	件数	(一次) 17,000件	19,971件	117.5%	18,000件	20,596件	17,645件	
	件数	(精密) 1,000件	1,408件	140.8%	—	1,411件	1,197件	
センター実施 大腸がん検診精度管理	件数	(一次) 40,500件	46,710件	115.3%	44,000件	49,914件	38,094件	
	件数	(精密) 1,100件	1,619件	147.2%	—	1,848件	1,557件	
医師会実施 大腸がん検診精度管理	件数	(一次) 30,000件	34,461件	114.9%	33,000件	36,961件	26,759件	
	件数	(精密) 400件	429件	107.3%	400件	561件	406件	
医師会実施 子宮がん検診精度管理	件数	(一次) 50,000件	58,840件	117.7%	53,000件	63,424件	46,439件	
	件数	(精密) 1,000件	1,370件	137.0%	1,000件	1,455件	995件	
医師会実施 肺がん検診精度管理	件数	(一次) 8,000件	8,236件	103.0%	9,000件	9,289件	12,038件	
	件数	(精密) 1,000件	927件	92.7%	—	1,196件	—	

※ 医師会実施がん検診精度管理の実績は、令和元年度中に記録処理を行った数である。

(一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要する。)

⑤がん相談コーナー

がん患者とその家族などに対して、がんの不安や治療などの各種相談に対応した。

対面相談は看護師による専門相談を第2・4土曜日の月2回、電話相談は毎週木曜日の月4回のうち、看護師による専門相談を第1・3週に、がん体験者によるピア相談を第2・4週に実施した。また、10月と2月には就労世代の支援として社会保険労務士と看護師による就労相談を対面相談と同時に実施した。

さらに、地域での出張相談として、社会保険労務士会世田谷支部の年金・労働相談会と連携し、「がん患者等就労相談—治療と就労の両立—」を11月に実施した。

[表5]

事業項目		令和元年度			30年度		29年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
対面相談		24回 (最大受入件数)72件	21回 24件	87.5% —	24回 (最大受入件数)72件	23回 19件	22回 21件
電話相談		48回 (最大受入件数)72件	45回 23件	93.8% —	48回 (最大受入件数)144件	45回 15件	46回 22件
就労相談	施設内 ※1	4回 (最大受入件数)72件	3回※2 5件	75.0% —	4回 (最大受入件数)8件	4回 3件	4回 3件
	出張型	1回 —	1回 3件	100.0% —	1回 —	1回 1件	—

※1 対面相談と同時実施（再掲）

※2 10月12日（土）は、台風19号接近のため、相談者の安全を考慮し中止した。

(3) 健康増進事業 (定款第4条第1号事業)

① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた健康度測定を実施した。また、運動負荷測定を行い、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。健康増進指導では、トータルな健康づくりを目指し、運動・栄養・休養指導を充実させた専門性の高い教室と、体験から実践までのニーズに応じた多様な教室・講座を開催した。また、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間の教室を開催した。

[表6]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数	—	70回	—	—	83回	81回	
	人数	1,680人	1,337人	79.6%	1,680人	1,565人	1,626人	
健康度再測定	人数(再掲)	—	4人	—	—	21人	37人	
運動負荷測定	回数	—	39回	—	—	41回	42回	
	人数	150人	128人	85.3%	150人	112人	135人	
健康増進指導	回数	—	393回	—	—	407回	416回	
	人数	10,600人	10,402人	98.1%	10,600人	11,314人	11,530人	
壮年期健康づくり教室 (夜間・土曜)	回数(再掲)	50回	47回	94.0%	50回	50回	48回	

※ 健康度測定(2次)受診総数 1,385 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理) 1,345 人、栄養指導(食生活改善)1,333 人、運動指導(活動・運動方法) 1,336 人を実施した。

※ 運動負荷測定受診者 128 人のうち、運動処方参加者 49 人に実践指導を行った。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・トータルな健康づくり 134 回(参加数 2,922 人)
- ・心とからだの癒しと元気 19 回(参加数 415 人)
- ・食での健康 14 回(参加数 273 人)
- ・からだの元気 179 回(参加数 5,332 人)
- ・壮年期向け(59歳以下対象) 47 回(参加数 1,460 人) 10月12日(土)台風により中止

② 専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

実地指導では、各総合支所健康づくり課の健康づくり事業やまちづくりセンターなどの地域で開催される健康教室等に、運動指導員を派遣し運動指導を行った。また、地域の健康づくり活動を活発化させるため、運動指導員を自主団体の活動へ派遣し運動指導を行った。

健康づくり支援では、世田谷区生活習慣病対策検討会や世田谷区地域の食環境づくり推進部会へ運動指導員・栄養士等を派遣した。また、長期継続自主団体を支援するため地域交流会を開催するなど、区民主体の健康づくり活動を支援した。

地域健康出前講座では、健康づくり課や区内事業者等からの依頼に応じて地域へ出向き、体脂肪量や骨格筋量の測定等とともにメタボリックシンドローム予防や介護予防の意識を高める講座を開催した。

壮年期対象地域講座では、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と連携のほか、令和元年度は多くの児童館との連携により、若い世代の父母に向けた健康づくり講座を開催した。

「職場のげんき力アッププログラム」は、事業所単位で取り組む健康づくりとして、平成26年度から実施しており、プログラムの多様化を図って提供を行った。

[表7]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実地指導	派遣数		1,130回	1,108回	98.1%	1,130回	1,189回	1,142回
	指導人数		—	16,123人	—	—	18,688人	18,509人
健康づくり支援	回数		100回	101回	101.0%	100回	92回	110回
地域健康出前講座	回数		20回	15回	80.0%	20回	18回	18回
	人数		—	312人	—	—	385人	384人
壮年期対象地域講座	回数		8回	8回	100.0%	8回	10回	8回
	人数		—	60人	—	—	114人	118人
職場のげんき力アップ	件数		5社	5社	100.0%	5社	2社	7社

③ 健康づくり支援リーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、「せたがや元気体操リーダー」を派遣し健康づくり活動を支援した。「せたがや元気体操リーダー」は、区民ボランティアリーダーとして、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導する。このリーダー事業は、養成から派遣までをNPO法人健康フォーラムけやき21と協働で運営している。

令和元年度は、リーダーを希望する区民の公募から受講者を選考し、11名を対象にリーダー養成講座を開催した。講座及び実習などすべてを修了した9名をリーダーに認定した。また、令和元年度登録リーダー68名を対象に指導技術の維持向上を図るため、研修会や交流会、指導実習を実施した。

[表8]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リーダー養成	人数		10人	9人	90.0%	隔年実施	—	11人
上級リーダー養成	人数		隔年実施	—	—	10人	11人	—
研修会(講座)	回数		10回	10回	100.0%	10回	10回	10回
研修会(指導実習)	人数		30人	29人	96.7%	30人	30人	29人
リーダー交流会	回数		6回	6回	100.0%	6回	6回	6回
リーダーによる実地指導	回数		320回	294回	91.9%	320回	319回	318回

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、派遣型集団指導を地区医師会や国保年金課・全国健康保険協会東京支部(協会けんぽ)と連携した重症化予防対策を展開した。

重症化予防対策の「個別指導」は、「派遣型集団指導」の欠席者や「派遣型集団指導」受講後に個別指導を希望する方に対象を拡大したが、利用希望はなかった。

[表9]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域出張 健康測定・ 個別相談会	回数		—	—	—	4回	4回	4回
	人数		—	—	—	—	83人	60人
重度化予防の 実践セミナー	回数		—	—	—	—	—	3回
	人数		—	—	—	—	—	40人
重症化 予防対策	集団指導	回数	—	—	—	—	—	3回
		人数	—	—	—	—	—	0人
	派遣型 集団指導	回数	12回	12回	100.0%	8回	8回	5回
		人数	—	32人	—	—	67人	44人
	個別指導	人数	20人	0人	0%	20人	4人	1人

⑤ 障害者の健康支援プログラム

新たに障害者の体力の維持向上等を目的に、リハビリ・スポーツ講座を烏山区民センター、千歳温水プール集会室で実施した。

[表 10]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リハビリ・ スポーツ講座	回数		10回	10回	100.0%	—	—	—

※リハビリ・スポーツ講座（参加数延 60名）

（４）健康教育事業（定款第４条第１号事業）

① 健康づくりの基盤を広げる各種健康イベント

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。

保健センター主催の講演会・講習会では、保健衛生知識の普及を目的として、講演会は、コミュニケーションの講師による「戦わないコミュニケーション」、心の健康づくり講習会は、駒澤大学講師による「坐禅」や落語家による「笑い」と落語」をテーマに開催した。

[表 11]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための 健康教室	回数		4回	4回	100.0%	4回	4回	4回
	人数		—	1,386人	—	—	1,177人	1,084人
区民のための 糖尿病教室	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	19人	—	—	10人	11人
歯っぴい& 健康フェスタ	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	678人	—	—	494人	607人
くすりと健康の つどい	回数		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
	人数		—	352人	—	—	249人	336人
薬の講演会	回数		—	—	—	1回	0回	1回
	人数		—	—	—	—	0人	33人
心の健康 づくり講習会	回数		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
	人数		—	136人	—	—	149人	87人
講演会・ 講習会	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	78人	—	—	37人	95人

② 健康情報の発信と保健センターまつり

健康情報の普及・啓発を目的とした情報発信として、健康情報紙「げんき人」の発行、ホームページ、エフエム世田谷による放送、保健センター掲示板、チラシなど様々な方法で情報発信を行った。

健康情報紙「げんき人」は、2回を4頁として内容を充実させ、9月号を100号記念号、3月号を移転特集号として編集し、新聞折込み及び区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。また、健康づくり事業では、フェイスブックで動画等を発信するなど、利用者を増やすための工夫を図った。

『三軒茶屋からうめとぴあへ 未来へつなぐ健康づくり!』をテーマとした「第10回保健センターまつり2019」は、10月6日(日)に開催し、健康意識の向上や保健センター事業の紹介等に加え、移転を広く知ってもらう機会ととして実施した。

[表 12]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康情報紙 「げんき人」の 発行	タブロイド判 2P	4回	2回	100.0%	4回	3回	4回	
	タブロイド判 4P					2回	1回	—

発行年月日	内 容	規 格 発行部数
2019. 4. 15 (第98号)	健康長寿とがん検診 ほか	タブロイド判 2ページ 260,000部
2019. 7. 1 (第99号)	地域での健康づくりをお手伝いします! ほか	タブロイド判 2ページ 260,000部
2019. 9. 15 (第100号)	区民の皆様の健康を願い続けて「げんき人」は 100号を迎えました! ほか	タブロイド判 4ページ 260,000部
2020. 3. 1 (第101号)	保健センターは「保健医療福祉総合プラザ」内に 移転します ほか	タブロイド判 4ページ 260,000部

[表 13]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
保健センター まつり	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	2,605人	—	—	2,097人	2,106人

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり。

・ボッチャ体験	80人	・薬の相談コーナー	46人
・五輪音頭	50人	・ダンス発表会	100人
・医師会糖尿病講演会	80人	・アロマ香りでこころケア	60人
・体成分分析測定	127人	・栄養バランスチェック	159人
・医師会血液簡易測定	120人	・科学者体験	28人
・骨年齢・肌年齢	138人	・子どもコーナー	213人
・アロマハンドマッサージ	115人	・がん検診紹介コーナー	270人
・日本光電物忘れチェック	100人	・ラジエーションハウス見学	24人
・健康づくり長期継続グループ表彰	44人	・企業協賛ブース	520人
・エクササイズリレー	291人	・ポールウォーキング(屋外)	40人

③ 健康教育指導と出張指導

区民の健康づくり支援を目的とし、定期的・継続的に運動を行う機会を提供するために、10種類の運動コース及び8種のマシンを用いた筋力アップトレーニングを通年で開催した。

また団体支援として、介護予防事業（筋力アップ教室、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座）へ専門職種を派遣した。特に「地域づくりによる介護予防」は、対象を区内全域に拡大し、おもりを使った保健センターオリジナルの「世田谷いきいき体操」を地域づくりの中で広めることに努めた。その他、まちづくりセンターなどの団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受けて、専門職種を派遣する出張指導を行った。

[表 14]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数		400回	449回	112.3%	400回	499回	394回
	人数		—	15,721人	—	—	18,087人	17,617人
マシン トレーニング	回数		—	1,081回	—	—	1,216回	1,216回
	人数		12,500人	11,305人	90.4%	12,500人	13,368人	14,033人

※ 運動コースでは「ゆったり気功体操」「チャレンジ太極拳」「エンジョイフラダンス」「わくわく体操」「さわやかヨーガ」「すこやか体操」「ステップエアロ」「ファイティングエアロ」「骨コツ筋力アップ」「サーキットトレーニング」の10コースを実施。

[表 15]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張指導	介護予防筋力アップ教室	回数	3教室	3教室	100.0%	3教室	3教室	3教室
		人数	—	209人	—	—	256人	232人
	地域づくりによる介護予防	団体数	10団体	3団体	30.0%	10団体	3団体	12団体
	普及啓発講座(はつらつ講座)	地区数	2地区	2地区	100.0%	2地区	2地区	2地区
	その他の出張指導	派遣人員	40人	30人	75.0%	40人	29人	33人
		参加人員	—	1,043人	—	—	1,004人	988人

④ 区内大学等との連携と地域健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学と連携した講習会を開催した。

また、病院の地域医療連携室との事業関連の研修企画や、健康づくり活動を20年継続している区民の自主グループに対して保健センターまつりでの表彰など、幅広い連携を図った。

[表 16]

事業項目	年度	令和元年度	
		内容	期日
大学等との連携		世田谷区医師会立看護高等専修学校 実習受入	令和元年 5月～11月
		駒澤大学仏教学部禅学科／坐禅講座講師派遣	令和元年 6月15日
		東京農業大学 実習受入	令和元年 9月～11月
		日本女子体育大学 実習受入	令和元年 9月～12月
		武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入	令和元年 9月～10月
		東京医療保健大学 実習受入	令和2年 2月12・19日
地域健康づくりグループとの交流		長期継続グループの表彰 (5団体)	令和元年 10月6日

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。利用勧奨等は、保険事業者が対象者へ行っているが、支援数は伸びていない。

[表 17]

事業項目		令和元年度			30年度		29年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	30人	12人	40.0%	60人	22人	21人
動機づけ支援	実人数	100人	89人	89.0%	180人	85人	102人

(5) 障害者相談支援事業（定款第4条第2号事業）

区の梅ヶ丘拠点整備に伴い、平成31年3月末で閉所した区立総合福祉センターで実施していた障害者に関する総合的な相談等について、障害者相談支援事業として新たな事業体系により実施した。

① 障害者専門相談

ア 専門相談・評価・検査

専門医と理学療法士等が、相互に連携を図りながら、医療、リハビリ、補装具など多様な相談に対応した。相談にあたっては、相談者1人ひとりのニーズに丁寧かつ適切な相談・評価・検査等のサービスを提供するとともに、情報提供や助言等を行った。また、関係機関等からの障害者の保健・福祉に関する相談等に対して必要な情報提供や連絡調整を行った。

[表 18]

事業項目		令和元年度			30年度		29年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門相談・ 評価・検査	実人員	650人	622人	95.7%	—	—	—
	延人員	1,190人	1,209人	101.6%	—	—	—

イ 障害者施設等への技術支援

障害者施設などの依頼により専門職を派遣し、施設職員等に対して支援技術の向上のための助言指導などを行った。また、区関係機関との連携及び情報共有を図るための会議を実施した。

[表 19]

事業項目		令和元年度			30年度		29年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
技術支援	回数	300回	301回	100.3%	300回	319回	299回

ウ 講座・研修・ネットワーク支援

障害のある当事者や家族向けの相談会や交流会、講演会を開催した。また、区内の関係機関等との円滑な連携体制の構築に向けた各種専門職等の連絡会を開催した。

[表 20]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関連機関との 連絡会等	回数		10回	27回	270.0%	—	—	—

②乳幼児育成相談

ア 発達・発育に関する評価、助言

今年度より、乳幼児の発達・発育に関する相談と専門評価に特化し事業を実施した。また、保護者の養育スキルの向上やメンタルヘルスの維持等を目的に、集団評価の場面を活用した保護者支援に取り組んだ。

相談及び集団評価は、計画数を上回ったが、個別評価については、実施方法や体制等の調整に時間を要し、計画数を下回る結果となった。

[表 21]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談業務								
	電話・来所相談		780人	847人	108.6%	—	871人	895人
	インテーク		360人	367人	101.9%	360人	359人	351人
専門評価								
個別評価	実人員		720人	630人	87.5%	—	—	—
	延人員		1,900人	1,525人	80.3%	—	—	—
集団評価	実人員		80人	87人	108.8%	—	—	—
	延人員		600人	900人	150.0%	—	—	—

イ 児童関係機関との連携及び地域支援

区内児童発達支援事業拠点施設との連絡会を定期的を開催し、関係機関の連携強化に取り組んだ。また、母子保健事業や障害児福祉施設等の要請に基づきスタッフを派遣し、施設職員等への指導助言を行う技術支援を実践した。

[表 22]

事業項目	年度	令和元年度			30年度		29年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関係機関との連絡会		30回	41回	136.7%	—	—	—
技術支援		50回	117回	234.0%	200回	210回	192回

③高次脳機能障害相談支援

高次脳機能障害に関する個別の相談評価のほか、今年度より開始した小グループでの評価や一定期間の継続した相談支援など、当事者及びその家族等に対して支援を行った。また、高次脳機能障害専門の医師による区民向け相談会・講演会などとともに、ガイドヘルパー養成講座、失語症会話パートナー養成講座など支援者養成のための人材育成を実施した。

[表 23]

事業項目	年度	令和元年度			30年度		29年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談・評価	実人員	150人	189人	126.0%	—	—	—
	延人員	200人	823人	411.5%	—	—	—
人材育成	実人員	30人	31人	103.3%	—	—	—
	延人員	200人	175人	87.5%	—	—	—

2 収益事業

収益 1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業、 専門技術支援事業

(1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 24]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃								
内視鏡検査	件数	1,500件	811件	54.1%	1,500件	897件	1,164件	
病理組織検査	件数	500件	220件	44.0%	550件	220件	307件	
大腸								
内視鏡検査	件数	240件	148件	61.7%	380件	167件	224件	
病理組織検査	件数	100件	63件	63.0%	160件	71件	86件	
乳房								
一般撮影	件数	310件	166件	53.5%	310件	168件	180件	
スポット撮影	件数	30件	12件	40.0%	30件	5件	22件	
超音波検査	件数	340件	282件	82.9%	340件	256件	295件	
細胞診検査	件数	30件	11件	36.7%	30件	11件	14件	
子宮								
細胞診検査	件数	150件	118件	78.7%	150件	149件	138件	
内視鏡検査	件数	150件	118件	78.7%	150件	148件	137件	
病理組織検査	件数	150件	117件	78.0%	150件	147件	137件	
MRI検査	件数	2,100件	1,436件	68.4%	2,300件	1,596件	1,825件	
CT検査	件数	2,100件	1,539件	73.3%	2,300件	1,753件	1,929件	
腹部超音波検査 (腹部・甲状腺・頸動脈)	件数	280件	163件	58.2%	280件	274件	241件	
心臓								
ホルター心電図	件数	24件	17件	70.8%	50件	22件	36件	
超音波検査	件数	190件	154件	81.1%	180件	161件	172件	

(2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。

大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診と便潜血検査との同時受診が可能となった26年度以降保健センターでの受診者の減少が継続している。保健センターの胃がんエックス線検診と大腸(便潜血検査)は、同時受診できるため、胃がんエックス線検診の減少も影響している。

① 子宮

[表 25]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数		32,000件	30,240件	94.5%	30,000件	31,649件	31,370件
	体部件数		3,000件	2,963件	98.8%	3,000件	3,202件	2,867件
	がん発見数		—	7人	—	—	16人 (10人)	20人 (6人)

※ がん発見数は令和2年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 頸部件数には不適正標本2件を含み、このほか再提出として頸部3件(内、前年度再提出1件含む)の判定を実施した。

※ 頸部 検査件数 30,240人、要精検数 593人(要精検率 2.0%)

体部 検査件数 2,963人、要精検数 35人(要精検率 1.2%)

② 大腸

[表 26]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件数		10,000件	5,704件	57.0%	10,000件	6,538件	7,447件
	がん発見数		—	5人	—	—	9人 (7人)	13人 (11人)

※ がん発見数は令和2年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 検査件数 5,704人、要精検数 367人(要精検率 6.4%)

(3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。

[表 27]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生 心臓精密検査	人数		100人	129人	129.0%	100人	105人	108人
小中学生 結核検診精密検査	人数		250人	325人	130.0%	250人	355人	301人
企業健診・ 個人健診	人数		2,500人	2,418人	96.7%	2,500人	2,330人	2,277人
脳ドック	人数		180人	148人	82.2%	180人	187人	187人
動脈硬化検査	個人		450人	492人	109.3%	450人	537人	505人
体成分分析測定	人数		100人	114人	114.0%	100人	180人	106人
骨密度測定	人数		250人	265人	106.0%	250人	349人	311人

(4) その他の技術提供事業 (定款第4条第3号事業)

①住宅改造アドバイザー

自宅で安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修を予定している家庭を訪問し、相談に応じるアドバイザーとして理学療法士等を派遣した。

[表 28]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改造アド バイザー派遣	回数		150回	119回	79.3%	220回	152回	142回

②福祉施設等技術支援

障害者のある方が入所もしくは通所している高齢者福祉施設に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助の留意点等について技術的な助言指導を行った。

[表 29]

事業項目		年度	令和元年度			30年度		29年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数		50回	48回	96.0%	50回	48回	58回